

(第6条関係)

事業計画書

事業名	子どもの貧困の啓蒙、 子どもと高齢者の交流事業
団体名	子どもの未来を考える会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>東京のベッドタウンとして発展してきた松戸市も高齢化の波に押され、市民における高齢者の割合が高まっている。また、川沿いの田畑が住宅に開発され、比較的安価な住宅に若い世帯が増加している。虹の街地域では高齢化の進んだ地域と子どもの多い地域が混在し、彼らが孤立しやすい状態にある。</p> <p>高齢者は健康寿命を長くする必要があり、子どもは大人の見守りやかかわりを必要としている。子供と高齢者が触れ合い、お互いを元気にしたり、助け合ったりする場が求められている。</p>												
事業の目的	<p>あそびのひろばでは子どもと高齢者がお互いに顔見知りになり、遊びを通して『今』の子ども達の実際の姿を観察・リサーチする。</p> <p>講演会では厳しい状態に置かれている子どもの環境を知ったり、『今』の社会全体の問題について考えたりする。</p>												
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>本団体は27年8月に発足し、イベント開催や講演会、居場所事業を展開してきた。</p> <p>① 子どもと高齢者の出会いの場“あそびのひろば”(27年8月に2回、28年8月に2回実施、28年3月に1回予定、29年度も同じ時期に計3回実施予定)</p> <p>② 特に子供の貧困をテーマにした“こみか講演会”</p> <p>あそびのひろばでは子供と高齢者が出会い、自由に遊ぶ中で地域にどんな子供がいて、どんなニーズを持っているかうかがい知ることができた。高齢者は自分の持ち味を生かし、子どもと関わることで楽しみながら内在する自己の力に気づくことができた。</p> <p>こみか講演会では一般市民は普段あまり耳にすることのない厳しい状況に置かれた子供達について、彼らと日々向かい合う専門家から貴重な体験談を聞くことができ、それぞれが様々な気づきを得て、どうすることが社会全体を良くしていくことができるのか考える機会となった。</p> <p>来年度もこうした活動を続け、もっと多くの参加者を得て、地域全体で支え合う関係づくりにつなげたい。</p> <p>遊びを与えるような内容より更にこなれた関係づくりのためにともに遊び、楽しむ時間を作っていく。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>具体的な取り組み</th><th>実施体制、対象、場所など</th></tr></thead><tbody><tr><td>4月初旬</td><td>講演者の手配</td><td></td></tr><tr><td>5月初旬 中旬</td><td>ホールの予約 講演会チラシ作成・配布 イベントと内容の検討</td><td>馬橋市民センター 相川町事務所</td></tr><tr><td>6月初旬</td><td>講演会実施</td><td>市民センター会議室</td></tr></tbody></table>		具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月初旬	講演者の手配		5月初旬 中旬	ホールの予約 講演会チラシ作成・配布 イベントと内容の検討	馬橋市民センター 相川町事務所	6月初旬	講演会実施	市民センター会議室
	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など											
4月初旬	講演者の手配												
5月初旬 中旬	ホールの予約 講演会チラシ作成・配布 イベントと内容の検討	馬橋市民センター 相川町事務所											
6月初旬	講演会実施	市民センター会議室											

	6月下旬	イベントチラシ作成 会議室の予約	旭町小学校・馬橋小学校に承認を得る
	7月初旬	チラシ配布	旭町小学校と馬橋小学校に依頼
	8月/二回	遊びのひろば開催	市民センターホール
	8月下旬	反省会 ひろばの内容と反省点をまとめて学校・協力者に配布	相川町事務所
	9月下旬	講演会実施	市民センター会議室
	11月下旬～ 12月上旬	講演会実施	市民センター会議室
	1月中旬	イベント内容の検討	相川町事務所
	2月上旬	講演会実施	市民センター会議室
	2月下旬	チラシ作成	旭町小学校・馬橋小学校に承認を得る
	3月初旬	チラシ配布	旭町小学校に依頼
	3月下旬	遊びのひろば開催 反省会 ひろばの内容と反省点をまとめて学校・協力者に配布	市民センターホール 相川町事務所
既存の事業からステップアップする部分 ※ステップアップ助成のみ			
事業の目標	<p>あそびのひろばも回数を重ねてきて、学校の先生方や子供達にある程度の認識を持ってもらえるようになった。来年度は知り合うところからもっと先に進んでこなれた関係性にしていきたい。工作や折り紙など“作る”“教える”という内容から“一緒に遊ぶ”“楽しい時間を共有する”という内容にシフトし、安心していい大人がいるんだと感じてもらいたい。</p> <p>あそびのひろばに来てくれた子供達や、相川町事務所を中心とした周囲数百メートル内の居場所に通える範囲に住む子供たちがもっと気軽に居場所を訪ねてくれるようにしたい。</p> <p>あそびのひろばの参加人数は28年8月は両日とも50名前後であったが、10%増程度に増やすことを目指す。</p> <p>講演会は今までのところは高齢者の参加が多かったが、今後は子育て世代がもっと参加しやすいよう、託児ができるよう外部団体に依頼する。</p>		
今後の展望	<p>現在毎週火曜日の午後は小学生を中心とした居場所活動を続けているが、中々今の小学生は忙しく、人数が集まらない。</p> <p>また、イベントを手伝う側の高齢者も子供に丁寧に何かを教えるには人数が足りないので、イベントや講演会を数多くコンスタントにこなすことで団体の存在や活動をもっと地域全体に知ってもらい、高齢者以外のボランティアの充実を図る。</p>		

(第6条関係)

事業の予算概要

【収入】※ 事業についての補足書類は添付できません。

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 5,907	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	事業収入	¥ 30,000	300円(参加料・来場者お茶代含む) * 100人(延べ人数)
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 135,907	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 55,000	外部講師謝礼 講演10,000円*4回 折り紙講師5,000*3回
	消耗品費	¥ 4,231	講演会・イベントのチラシ、資料、マニュアルのコピー紙代 (＠0.6円) チラシ：講演用420枚/回*4 あそびのひろば用(1100+424)/回*3 1680+4572=6252枚
	〃	¥ 23,256	筆記用具 資料5枚*40人*4回=800枚 プリンタインク (3円/枚) あそびのひろば用文具(のり、ボンド、折り紙、はさみ、カッターボード、工作用品等)
	食糧費	¥ 4,000	子ども用お茶600円*3回
	委託料(託児料)	¥ 24,000	1000円/時*二時間*3人*4回
	使用料及び賃借料	¥ 10,920	会場使用料 会議室210円/時*3H*4回 ホール700円/時*4H*3回
	保険料	¥ 4,500	行事保険 1500円/回*3
	対象経費の合計 (D)	¥ 125,907	
その他	食糧費	¥ 10,000	講演会来場者お茶100円*25人*4回
合計額 (F) = (D+E)		¥ 135,907	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。